

年頭所感（「山口経済レポート」）

日本銀行下関支店長 蒲地 久司

新年明けましておめでとうございます。謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

旧年中は日本銀行下関支店の業務に格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年の山口県経済は、対面型サービスを中心に引き続き感染症の厳しい影響を受けました。しかし、県内各主体のご尽力で全国トップのスピードでワクチン接種が進み、年末にかけては個人消費の持ち直しの動きがみられています。また、主力の製造業は、高い品質・競争力を背景に生産・輸出の持ち直しが続き、高い収益と高水準の投資を実現しています。

全国対比でも力強い回復が見られていますが、本年も、原材料価格の高騰や、感染症の影響には不確実性が残ります。また、人手不足、デジタル化、気候変動への対応といったチャレンジも必要です。

こうした取組みを通じ山口県経済が更に発展し、本年が皆様にとって実り多い1年となるよう心より祈念致します。